

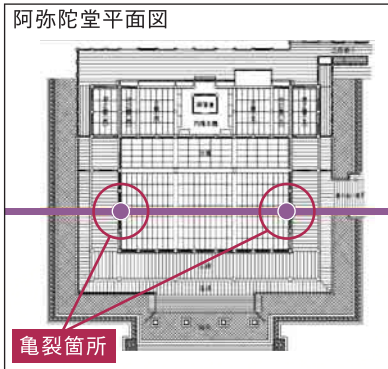


# 御修復のあゆみ く 伝承された先達の願い く

## 阿弥陀堂の柱座屈検証実験を実施！



亀裂の入った阿弥陀堂参詣席の柱



二〇〇八年から阿弥陀堂・御影堂の耐震調査研究が進められています。これは、御影堂耐震調査研究に引き続き行われているもので、阪神淡路大震災級の地震が発生しても真宗本廟の両堂等が倒壊を免れ、参拝者の人命に重大な被害をおよぼさないことや、地震災害から真宗本廟の両堂を護り、次代に間違いなく相続

していくことを願っています。

このたび、阿弥陀堂の耐震調査研究において、阿弥陀堂の柱が一部傾斜していることや、柱に亀裂が入っていることが明らかになりました。原因は、上部からの屋根荷重に加え、横方向からの水平荷重によるものであることが推定されました。そこで、阿弥陀堂の三分の一の大きさで柱の模型をつくり、上部からの荷重及び横方向からの水平荷重を加える検証実験を行いました。この実験において、阿弥陀堂の柱と同様に模型の柱にも亀裂が入り、柱自体も「くの字」に曲がる座屈性状が見られました。特に亀裂に関しては、上部から荷重を加えただけでは柱に亀裂が入ることとはなく、横方向から荷重が加わっ